

[成果情報名] 長崎県の主要バレイショ産地の動向

[要約] 長崎県のバレイショ主要 6 産地を主成分分析法により類型区分すると、産地のバレイショの特化度と変化の程度から 3 区分される。飯盛は粗生産額に占めるバレイショの割合は低い
が 1.5ha 以上の上層農家数の増加が最も大きい。吾妻は主要野菜に占めるバレイショの面積割合が最も低く、バレイショ作付面積の増減割合も低い。愛野、小浜、加津佐、南串山は粗生産額に占めるバレイショの割合が高いが、粗生産額の増減割合が小浜以外は中位以下である。

[キーワード] バレイショ、主成分分析、特化度

[担当] 総合農林試験場・企画経営部・経営科

[連絡先] 電話0957-26-3330、電子メールtomo.iwa@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 営農・いも類

[分類] 行政

[背景・ねらい]

本県の主要特産畑作物であるバレイショについて、県内のバレイショ主要 6 産地（飯盛町、吾妻町、愛野町、小浜町、南串山町、加津佐町）について、農林業センサス等の統計データをもとに主成分分析法を用い、産地の類型区分を行う。

[成果の内容・特徴]

- 1．長崎県のバレイショ作付面積は、1980年頃をピークに減少し、2000年の春バレイショは、最盛期の67%、秋バレイショは同47%まで減少している（表1）。
- 2．主要 6 産地の1990と2000年の秋、春作バレイショの作付面積をみると、吾妻町は春作の減少が大きい。春秋作全体で、飯盛町のみ面積増を示し、吾妻町と愛野町は県の減少率以下か同程度である（表1）。
- 3．農林業センサスの1990年と2000年のデータによる 8 つの特性値（表2：農業粗生産額・販売農家数・バレイショ作付面積・10 a 当たりバレイショ粗生産額・1.5ha 以上の上層農家数・バレイショ農家数の増減割合、粗生産額に占めるバレイショの割合、主要野菜に占めるバレイショの面積割合）の数値を使い、主要産地の主成分分析を行った。主成分 1（縦軸）は産地の変化を表し、主成分 2（横軸）は産地のバレイショの特化度を示している。
- 4．主成分を軸とした各産地の分布をみると、大きく 3 つに区分される（図1）。飯盛町は粗生産額に占めるバレイショの割合は低い
が 1.5ha 以上の上層農家数の増加が最も大きい。吾妻町は主要野菜に占めるバレイショの面積割合が最も低く、バレイショ作付面積の増減も最も低い。他の 4 産地は粗生産額に占めるバレイショの割合が高いが、粗生産額の増減割合がほぼ全体の
中位以下である。そのうち、愛野町、小浜町は主要野菜に占めるバレイショの面積割合が高くバレイショ作付面積の増減割合は中位で、加津佐町は粗生産額に占めるバレイショの割合は中位以上で、粗生産額の増減割合も中位である。南串山町は主要野菜に占めるバレイショの面積割合は中位以上であるが、粗生産額の増減割合が低い（図1）。

[成果の活用面・留意点]

- 1．バレイショ産地振興の参考資料として活用できる。
- 2．主成分分析は、いくつかの変数の総合的特性を互いに独立な少数個の指標で表すことで、多次元のデータを要約する統計的手法である。

[具体的データ]

表 1 バレイシヨの作付面積の推移 (ha)

区分	町 名	75	80	85	90	95	2000	2000/90
春 作	飯 盛	120	185	235	310	301	327	1.05
	吾 妻	354	466	389	379	230	205	0.54
	愛 野	237	308	326	317	220	216	0.68
	小 浜	456	527	556	549	433	406	0.74
	南串山	350	452	477	462	370	376	0.81
	加津佐	340	506	509	507	414	408	0.80
	県 計	4,520	5,370	5,520	5,390	3,880	3,580	0.66
秋 作	飯 盛	80	44	20	19	24	30	1.58
	吾 妻	127	127	146	137	115	112	0.82
	愛 野	174	185	207	166	110	109	0.66
	小 浜	131	178	200	185	176	171	0.92
	南串山	150	143	175	115	127	123	1.07
	加津佐	137	135	153	163	180	180	1.10
	県 計	2,900	2,680	2,440	1,930	1,450	1,260	0.65
合 計	飯 盛	200	229	255	329	325	357	1.09
	吾 妻	481	593	535	516	345	317	0.61
	愛 野	411	493	533	483	330	325	0.67
	小 浜	587	705	756	734	609	577	0.79
	南串山	500	595	652	577	497	499	0.86
	加津佐	477	641	662	670	594	588	0.88
	県 計	7,420	8,050	7,960	7,320	5,330	4,840	0.66

表 2 主要バレイシヨ産地の特性値 (2000農林センサス : 2000/1990 , % ,)

町 名	農業粗生産額の増減割合	販売農家数の増減割合	バレイシヨ作付面積の増減割合	10aあたりバレイシヨ粗生産額の増加率	1.5ha以上の上層農家数の増減割合	粗生産額に占めるバレイシヨの割合	バレイシヨ農家数の増減割合	主要野菜に占めるバレイシヨの面積割合
飯 盛	1.208	0.710	1.321	0.167	3.800	38.80	0.720	57.95
吾 妻	0.831	0.860	0.479	1.120	0.500	17.53	0.654	38.51
愛 野	0.823	0.823	0.973	1.117	1.350	48.94	0.825	95.24
小 浜	0.989	0.757	1.018	1.350	1.270	61.34	0.725	95.45
南串山	0.711	0.786	0.786	1.291	0.780	54.19	0.793	58.23
加津佐	0.997	0.787	0.892	1.230	0.800	48.41	0.769	91.65

表 3 主成分負荷量

項 目	主成分 1	主成分 2
農業粗生産額の増減割合	0.87497	-0.21913
販売農家数の増減割合	-0.91365	-0.16179
バレイシヨ作付面積の増減割合	0.95226	0.28673
10aあたりバレイシヨ粗生産額の増加率	-0.80156	0.51302
1.5ha以上の上層農家数の増減割合	0.94758	-0.22585
粗生産額に占めるバレイシヨの割合	0.23790	0.91956
バレイシヨ農家数の増減割合	0.03763	0.82864
主要野菜に占めるバレイシヨの面積割合	0.16810	0.86939

固有値

主成分	固有値	寄与率 (%)	累積 (%)
1	4.13	51.67	51.67
2	2.76	34.48	86.16

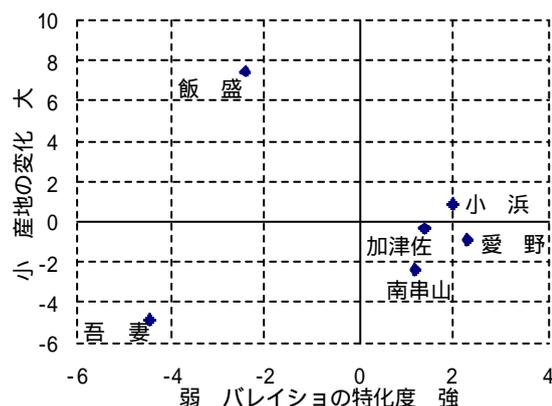


図 1 主成分を軸とした各産地の分布

[その他]

課題名 : 九州・沖縄における地域特産畑作物産地活性化のための新しい持続的輪間作体系化技術の開発

予算区分 : 国庫 (新技術実用化)

研究期間 : 平成 14 年度 (平成 13 ~ 15 年度)

研究担当者 : 岩坪友三郎、鳥羽由紀子

発表論文等 : なし